



平成24年2月期 第2四半期決算短信 [日本基準] (非連結)

平成23年10月12日

上場会社名 株式会社トレジャー・ファクトリー 上場取引所 東
 コード番号 3093 URL <http://www.treasurefactory.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野坂 英吾 TEL 03-3880-8822
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 小林 英治
 四半期報告書提出予定日 平成23年10月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年2月期第2四半期の業績 (平成23年3月1日～平成23年8月31日)

(1) 経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年2月期第2四半期	3,299	11.6	195	39.8	216	52.3	91	13.3
23年2月期第2四半期	2,957	19.8	139	△1.5	142	0.2	80	26.8

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
24年2月期第2四半期	33	66	33	15
23年2月期第2四半期	31	95	31	27

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円	百万円	円	%	円	銭	
24年2月期第2四半期	2,940		1,515		51.6	556	96	
23年2月期	2,651		1,451		54.7	533	30	

(参考) 自己資本 24年2月期第2四半期 1,515百万円 23年2月期 1,451百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
23年2月期	—	0.00	—	10.00	10.00
24年2月期	—	0.00	—	—	—
24年2月期 (予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成24年2月期の業績予想 (平成23年3月1日～平成24年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	7,328	15.4	425	8.2	445	12.3	213	△2.9	78	26

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】3ページ「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

（注）「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年2月期2Q	2,721,800株	23年2月期	2,721,800株
② 期末自己株式数	24年2月期2Q	—株	23年2月期	—株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年2月期2Q	2,721,800株	23年2月期2Q	2,530,494株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は本資料の発表現在において入手可能な情報により作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項につきましては【添付資料】3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(第2四半期累計期間)	6
(第2四半期会計期間)	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
4. 補足情報	10
(1) 仕入実績	10
(2) 販売実績	10

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の直後から低下した生産能力は着実に回復が見られたものの、海外経済の減速や急激な円高の進行などにより依然として景気の先行きは不透明となっています。震災後、急速に冷え込んだ消費者マインドは徐々に回復しましたが、景気の不透明感から本格回復には至っておりません。

このような経営環境の中、当社は、既存店の収益力強化と新規出店を進めるとともに、全社的な販売費及び一般管理費の抑制に取り組みました。

売上高は全社では前年同期比11.6%増、既存店(平成22年2月期末までに出店した店舗、以下同じ)では前年同期比2.8%減となりました。既存店売上高は、震災直後の営業時間短縮などの影響から3月は前年同月比15.4%減となりましたが、4月以降は回復を見せました。商品カテゴリー別の売上高では、衣料・服飾雑貨が前年同期比19.8%増、生活雑貨が同10.0%増となりました。

仕入面においては、当期商品仕入高は全社で前年同期比7.9%増となりました。一般顧客からの仕入である一般買取は全社で前年同期比13.9%増、既存店は前年同期比0.7%減となりました。

買取促進・販売促進においては、前期に導入したポイントカードサービス「トレポ」を活用したキャンペーンやWeb広告を中心とした効率的な広告宣伝を実施しました。また、マンション管理会社との提携によるマンション住人への出張買取サービスやファッションECサイト運営会社との提携によるWeb通販ユーザーへの宅配買取サービスなどにも引き続き取り組み、店舗以外の買取チャネルでの買取拡大を進めました。

出店政策においては、総合リユース業態の「トレジャーファクトリー」(直営)を神奈川県横浜市に出店し、服飾専門リユース業態の「トレジャーファクトリースタイル」(直営)を千葉県船橋市、埼玉県川越市に出店した結果、平成23年8月末現在では、直営店が「トレジャーファクトリー」41店、「トレジャーファクトリースタイル」11店の計52店、FC店が「トレジャーファクトリー」3店となり、合計店舗数55店体制となりました。

利益面では、全社の売上総利益率が65.4%と前年同期に比べ0.9%上昇しました。既存店の売上総利益率は65.8%と前年同期に比べ0.5%上昇しました。一方で、返品調整引当金繰入額を20,558千円計上したことにより、差引売上総利益は2,139,043千円となりました。

販売費及び一般管理費につきましては、震災直後から、全社的な費用抑制に取り組んだ結果、販売費及び一般管理費比率が前年同期に比べ0.9%低下し、58.9%となりました。

これらの結果、当第2四半期累計期間の業績につきましては、売上高3,299,649千円(前年同期比11.6%増)、営業利益195,494千円(前年同期比39.8%増)、経常利益216,333千円(前年同期比52.3%増)、四半期純利益91,617千円(前年同期比13.3%増)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第2四半期会計期間末における資産合計は、商品が72,684千円増加したこと、建物が99,977千円増加したこと等により、前事業年度末と比較して288,319千円増加し、2,940,278千円となりました。

当第2四半期会計期間末における負債合計は、資産除去債務が151,172千円増加したこと等により、前事業年度末と比較して223,920千円増加し、1,424,339千円となりました。

当第2四半期会計期間末における純資産合計は、四半期純利益を91,617千円計上したこと等により、前事業年度末と比較して64,399千円増加し、1,515,938千円となりました。

(キャッシュ・フローの分析)

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前事業年度末に比べ67,906千円増加し、553,438千円となりました。

また当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは149,259千円の収入(前年同四半期は12,834千円の支出)となりました。これは主に税引前四半期純利益176,738千円、減価償却費64,893千円があった一方で、法人税等の支払額102,698千円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは93,337千円の支出(前年同四半期は176,122千円の支出)となりました。これは主に店舗新設に伴う有形固定資産の取得による支出55,774千円、敷金及び保証金の差入による支出29,501千円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは11,983千円の収入(前年同四半期は146,928千円の収入)となりました。長期借入金による収入100,000千円があった一方で、長期借入金の返済による支出97,187千円があったことによるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成24年2月期第2四半期累計期間の業績は、前年同期に比べ売上総利益率が改善したこと、販売費及び一般管理費が計画を下回ったことなどにより、営業利益、経常利益及び四半期純利益が予想を上回る着地となりました。

当期末半期においても、引き続き直営店の出店を進めながら、既存店の収益力強化に取り組んでまいります。なお、当期の年間出店予定数を当初計画の10店から8店に変更しております。

通期の業績予想につきましては、平成23年6月15日に公表しました「平成24年2月期業績予想及び配当予想に関するお知らせ」に記載の業績予想から変更はありません。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

(資産除去債務に関する会計基準の適用)

第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより営業利益及び経常利益は、それぞれ5,905千円減少し、税引前四半期純利益は45,500千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は143,616千円であります。

(返品調整引当金)

従来、返品に伴う損失は、返品を受けた時点で計上しておりましたが、第1四半期会計期間より、販売した時点において今後返品により発生すると見込まれる損失を返品調整引当金として計上する方法に変更しております。

この変更は、近年、売上高および売上総利益が増加し、以前と比較して返品により発生すると見込まれる損失認識の重要性が増加したためであります。

この結果、従来の方法によった場合に比べ、売上総利益、営業利益、経常利益および税引前四半期純利益がそれぞれ20,558千円減少しております。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成23年8月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成23年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	566,844	498,938
売掛金	49,869	50,543
商品	777,479	704,794
その他	176,774	170,790
貸倒引当金	△514	△538
流動資産合計	1,570,453	1,424,529
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	505,758	405,780
土地	141,555	141,555
その他(純額)	141,628	144,553
有形固定資産合計	788,942	691,889
無形固定資産		
	16,487	18,432
投資その他の資産		
敷金及び保証金	463,531	434,452
その他	100,862	82,655
投資その他の資産合計	564,393	517,107
固定資産合計	1,369,824	1,227,429
資産合計	2,940,278	2,651,958
負債の部		
流動負債		
買掛金	21,777	20,724
短期借入金	275,800	239,000
1年内返済予定の長期借入金	166,329	169,485
未払法人税等	123,301	113,606
賞与引当金	91,606	80,945
返品調整引当金	20,558	—
ポイント引当金	10,528	8,173
その他	284,173	294,527
流動負債合計	994,075	926,463
固定負債		
長期借入金	276,172	270,203
リース債務	2,919	3,753
資産除去債務	151,172	—
固定負債合計	430,264	273,956
負債合計	1,424,339	1,200,419

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成23年8月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成23年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	360,193	360,193
資本剰余金		
資本準備金	295,193	295,193
資本剰余金合計	295,193	295,193
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	860,551	796,152
利益剰余金合計	860,551	796,152
株主資本合計	1,515,938	1,451,539
純資産合計	1,515,938	1,451,539
負債純資産合計	2,940,278	2,651,958

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)
売上高	2,957,221	3,299,649
売上原価	1,048,692	1,140,047
売上総利益	1,908,529	2,159,602
返品調整引当金繰入額	—	20,558
差引売上総利益	1,908,529	2,139,043
販売費及び一般管理費	1,768,715	1,943,549
営業利益	139,814	195,494
営業外収益		
受取利息	94	61
自販機収入	5,154	5,701
助成金収入	—	17,235
その他	2,325	2,423
営業外収益合計	7,574	25,422
営業外費用		
支払利息	5,297	4,384
その他	31	198
営業外費用合計	5,329	4,583
経常利益	142,059	216,333
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	39,595
特別損失合計	—	39,595
税引前四半期純利益	142,059	176,738
法人税、住民税及び事業税	58,849	113,100
法人税等調整額	2,371	△27,978
法人税等合計	61,221	85,121
四半期純利益	80,838	91,617

(第2四半期会計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期会計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年8月31日)	当第2四半期会計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年8月31日)
売上高	1,442,488	1,640,953
売上原価	531,018	584,041
売上総利益	911,470	1,056,911
返品調整引当金繰入額	—	951
差引売上総利益	911,470	1,055,960
販売費及び一般管理費	889,547	1,007,692
営業利益	21,923	48,267
営業外収益		
受取利息	89	59
自販機収入	2,917	3,147
その他	1,373	623
営業外収益合計	4,381	3,830
営業外費用		
支払利息	2,593	2,302
その他	—	48
営業外費用合計	2,593	2,351
経常利益	23,711	49,746
税引前四半期純利益	23,711	49,746
法人税、住民税及び事業税	27,449	53,400
法人税等調整額	△15,286	△25,002
法人税等合計	12,162	28,397
四半期純利益	11,548	21,349

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	142,059	176,738
減価償却費	51,773	64,893
のれん償却額	—	771
賞与引当金の増減額(△は減少)	6,381	10,660
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2,561	△24
株主優待引当金の増減額(△は減少)	△1,532	△3,720
ポイント引当金の増減額(△は減少)	—	2,354
返品調整引当金の増減額(△は減少)	—	20,558
受取利息及び受取配当金	△94	△61
支払利息	5,297	4,384
貸貸資産の取得による支出	—	△2,708
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	39,595
売上債権の増減額(△は増加)	△9,489	673
たな卸資産の増減額(△は増加)	△75,576	△75,948
仕入債務の増減額(△は減少)	3,159	1,053
未払金の増減額(△は減少)	△17,773	△11,088
その他	△2,315	27,948
小計	99,327	256,082
利息及び配当金の受取額	97	62
利息の支払額	△5,124	△4,186
法人税等の支払額	△107,135	△102,698
営業活動によるキャッシュ・フロー	△12,834	149,259
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△109,415	△55,774
無形固定資産の取得による支出	—	△252
敷金及び保証金の差入による支出	△52,814	△29,501
敷金及び保証金の回収による収入	4,345	22
長期前払費用の取得による支出	△18,237	△7,830
投資活動によるキャッシュ・フロー	△176,122	△93,337
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△9,000	36,800
長期借入れによる収入	50,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△111,168	△97,187
株式の発行による収入	242,106	—
配当金の支払額	△24,177	△26,796
その他	△833	△833
財務活動によるキャッシュ・フロー	146,928	11,983
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△42,028	67,906
現金及び現金同等物の期首残高	462,898	485,532
現金及び現金同等物の四半期末残高	420,869	553,438

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 仕入実績

当第2四半期累計期間の商品別仕入実績は、次のとおりであります。

品目	当第2四半期累計期間 (自 平成23年3月1日 至 平成23年8月31日)		
	仕入高(千円)	構成比(%)	前年同期比(%)
生活雑貨	137,022	11.3	100.9
衣料・服飾雑貨	583,004	48.1	116.8
電化製品	304,062	25.1	102.1
家具	88,286	7.3	112.1
ホビー用品	65,367	5.4	86.8
その他	34,456	2.8	95.1
合計	1,212,200	100.0	107.9

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 販売実績

当第2四半期累計期間の商品別販売実績は、次のとおりであります。

事業	品目	当第2四半期累計期間 (自 平成23年3月1日 至 平成23年8月31日)		
		売上高(千円)	構成比(%)	前年同期比(%)
直営事業	生活雑貨	416,128	12.6	110.0
	衣料・服飾雑貨	1,534,469	46.5	119.8
	電化製品	813,321	24.6	103.9
	家具	316,579	9.6	105.3
	ホビー用品	188,556	5.7	96.4
	その他	14,413	0.5	115.5
	小計	3,283,468	99.5	111.3
F C事業		8,858	0.3	147.9
その他事業		7,322	0.2	—
合計		3,299,649	100.0	111.6

(注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2 F C事業は、商品販売、加盟料・指導料・ロイヤリティ等であります。